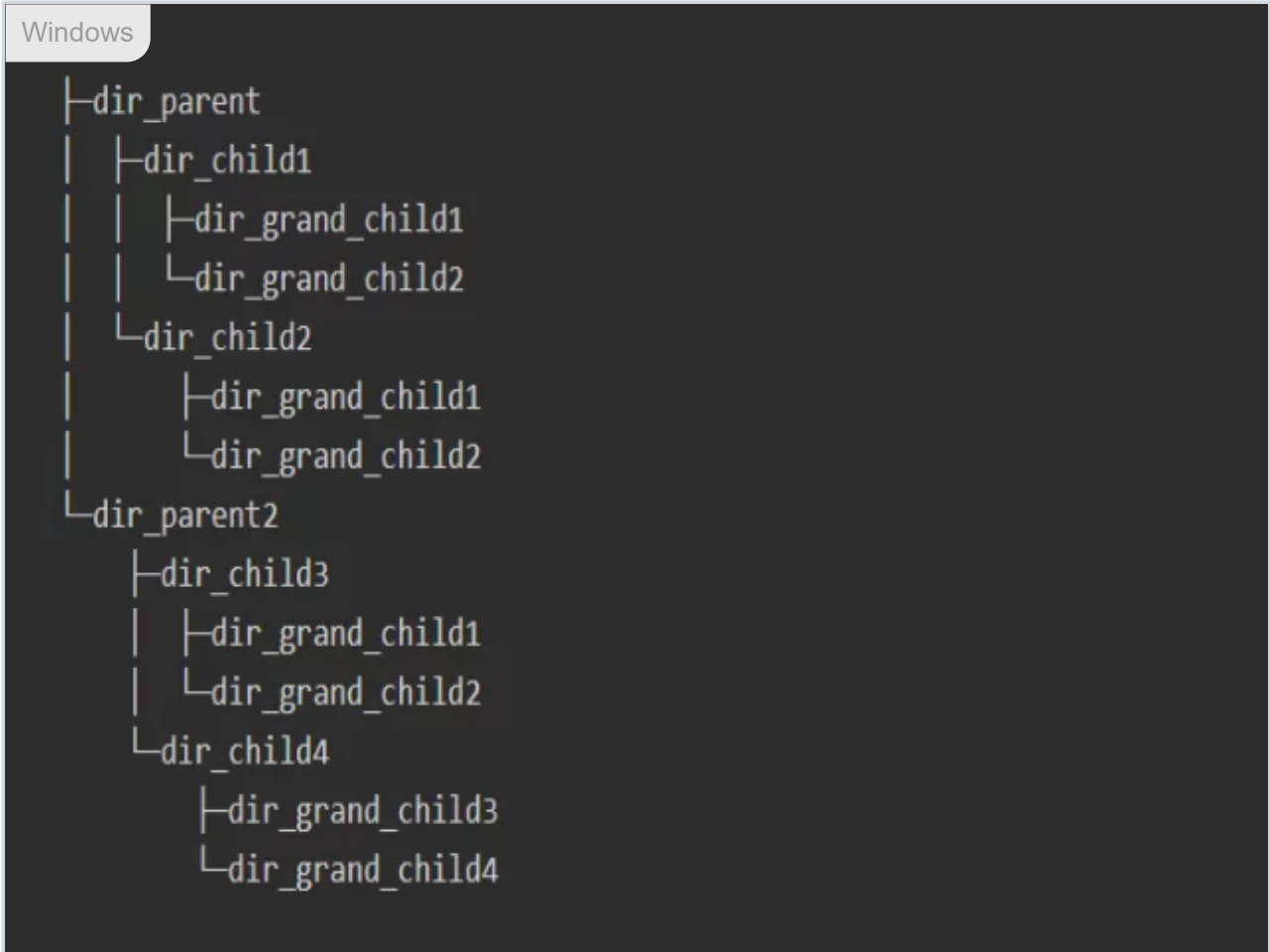


# 【Windows】ディレクトリ構成図の書き方を2つご紹介    ファイル込みで表記する方法も



© 2019.11.18

新しいプロジェクトなどを始める際、ディレクトリ構成図を表現したい時ありますよね。

こんなやつ↓



今回はディレクトリ構成図を書く方法を2つご紹介します。

## ①罫線文字を使ってディレクトリ構成図を書く

MSIMEだと、以下の文字の変換で罫線文字を表示することができます。

読み	文字
たて	
ひだり	├ ┤ └ ┨
たてみぎ	└ ┘ ┘ ┘
ひだりうえ	┌ ┌
ひだりした	└ └
ふとわく	└ ┘ ┘ ┘
ほそわく	└ ┘ ┘ ┘
まんなか	├ ┤ ┤ ┤
みぎうえ	┐ ┐

読み	文字
みぎした	」 』
よこ	— —
よこうえ	⌊ ⌋ ⌌ ⌍
よこした	⌊ ⌋ ⌌ ⌍

かなり直観的に変換できると思います。

ただ、この罫線文字を地道に書いていくのはちょっと苦勞しますよね。

## ② 予め作ったディレクトリをtreeコマンドで出力する

基本的には[こちらの方が簡単で、おススメの方法](#)です。

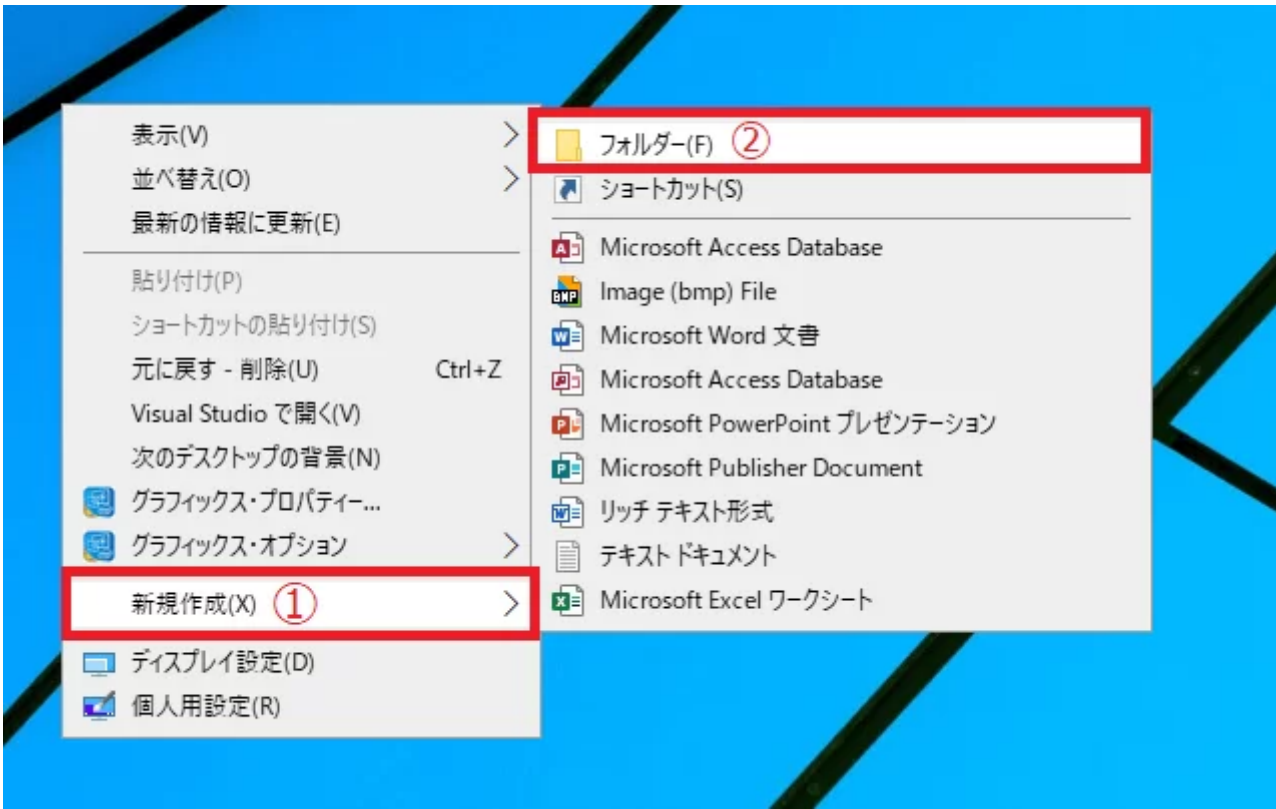
～作成手順～

1. 空のディレクトリを実際に作る
2. コマンドプロンプト等を開いて、**tree**コマンドで出力する
3. 任意の場所に張りつける

具体的に紹介します。

### ● 1. ディレクトリの作成

デスクトップ上で「右クリック ▶ 新規作成 ▶ フォルダー」からディレクトリ構成を作っていきます。



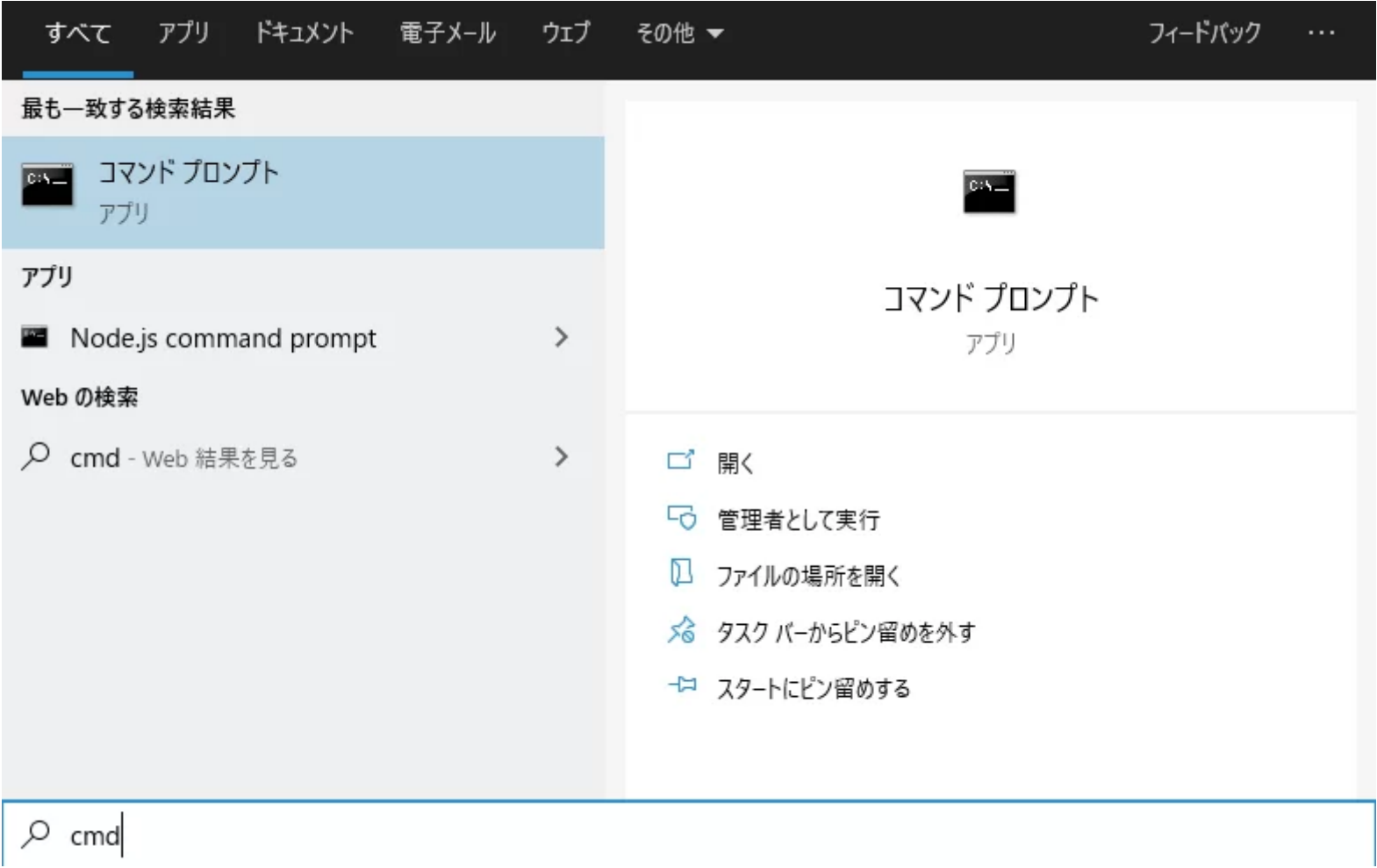
※フォルダの作成は「**ctrl + Shift + N**」の同時押しでも作成できます。

### ● 2. treeコマンドで出力

Windows環境なら、コマンドプロンプトかWindows PowerShellを開きます。

Windowsでプログラムを検索する際は、「[画面左下のスタートアイコンを右クリック ▶ 検索](#)」から探せます。

例) コマンドプロンプトを検索する場合



開けたら、**treeと記述し、半角スペースを空けてから作成したフォルダーをドラッグ**します。

ドラッグ後はこんな感じになります。

```
C:\Users\{ユーザー名}&gt;tree C:\Users\{ユーザー名}\Desktop\test
```

ここでEnterを押すとディレクトリが表示されます。

```
├dir_parent
│   ├──dir_child1
│   │   ├──dir_grand_child1
│   │   └dir_grand_child2
│   └dir_child2
│       ├──dir_grand_child1
│       └dir_grand_child2
└dir_parent2
    ├──dir_child3
    │   ├──dir_grand_child1
    │   └dir_grand_child2
    └dir_child4
        ├──dir_grand_child3
        └dir_grand_child4
```

※コマンドプロンプトでは表記がくずれているかもしれませんが、他の場所にコピペしたら綺麗に表示されます。

### ● 3.任意の場所に貼り付ける

後はエクセルやメモ帳などにコピペするだけです。

こちらの方法だと、間違えがないので安心ですね。

### ● レベルアップ：中のファイルまで表示させる

ディレクトリ構成だけでなく、中のファイルまで表示させたい時は、**/f**オプションをつけるだけです。

```
C:\Users\{ユーザー名}&gt;tree/f C:\Users\{ユーザー名}\Desktop\test
```

無事テキストファイルまで表示されました。

```
├dir_parent
│   ├──dir_child1
│   │   ├──dir_grand_child1
│   │   │   test.txt
│   │   └dir_grand_child2
│   └dir_child2
│       ├──dir_grand_child1
│       └dir_grand_child2
└dir_parent2
    ├──dir_child3
    │   ├──dir_grand_child1
    │   └dir_grand_child2
    └dir_child4
        ├──dir_grand_child3
        └dir_grand_child4
```

以上、ディレクトリ構成図の書き方についてまとめてみました。

treeコマンドを使うと思ったより簡単に表記できるので、ぜひ試してみてください！